



首都圏
自然歩道

関東ふれあいの道

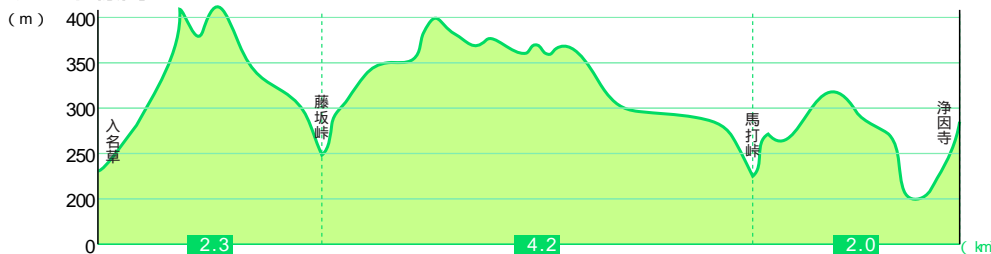
栃木県

6 山なみのみち

8.5km

足利市名草上町にある巖島神社の鳥居を出発し、坂道を登ると、名草巨石群のある巖島神社に着きます。少し戻ってから南に向かい、尾根伝いに登り下りし、藤坂峠や馬打峠などを越えると、行基上人が開基した「関東の高野山」とも言われる行道山浄因寺に到着します。尾根道には、スギ・ヒノキなどの針葉樹やモミジなどを交えた広葉樹林が広がります。

ルート標高



踏破認定撮影ポイント



藤坂峠(開通記念碑)

足利市の松田町と名草上町を結ぶ峠です。峠には「藤坂峠開通」の記念碑が建てられています。

名前の由来は、富士山のような傾斜をもった峠であるためとも、藤の花が咲くことによるためなどの説があります。

コース周辺の見所



巖島神社の鳥居

足利市名草上町にある巖島神社の鳥居が「山なみのみち」の起点です。ここから坂道を登っていくと、巨石の上に建てられた巖島神社社殿に着きます。

首都圏自然歩道のルートは、坂の途中から左に折れ、尾根伝いに行道山浄因寺まで続きます。



名草の巨石群

地下深くできた花崗岩が地表に出て浸食されたもので、「たまねぎ状風化」といわれる大変珍しいものです。昭和14年に国の天然記念物に指定されました。

巖島神社社殿前には高さ11m以上もある御供(おそなえ)石、弁慶の手割り石などがあります。



尾根道

「山なみのみち」は、名草巨石群から、尾根伝いに行道山浄因寺まで歩くコースです。尾根は、アカマツやコナラが主の雑木林で、木々の隙間から周辺の山なみを眺望することが出来ます。



馬打峠

足利市の松田町と月谷町を結ぶ峠です。名前の由来は、とても険しく馬でも容易に進めず馬の尻を打ちながらようやく登ったためとも、足利忠綱が峠を越えたとき、馬が足を滑らせ忠綱が馬から落ちた「馬落ち」から転じたとも言われています。



行道山浄因寺

断崖絶壁に囲まれた山中にあり、「関東の高野山」とも言われるこの寺は和銅7年(714)行基(ぎょうき)上人の開創と伝えられる名刹です。

断崖の上に清心亭が建つ風景は南画さながらの景勝の地として、昭和50年に県の名勝第1号に指定されています。

問い合わせ

栃木県環境森林部自然環境課 自然公園担当
栃木県県南環境森林事務所 環境企画課
足利市役所 商業観光課

〒320-8501 宇都宮市壺田 1-1-20 TEL.028-623-3206
〒327-8503 佐野市堀米町 607 TEL.0283-23-1441
〒326-8601 足利市本城 3-2145 TEL.0284-20-2165